

文化の充実

平成3年に始まった定禅寺ストリートジャズフェスティバルは、全国から注目される一大イベントに成長しました。平成7年の「若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール」や、平成13年より3年ごとに開催されている「仙台国際音楽コンクール」など、「楽都仙台」として音楽文化を活用したまちづくりを進めています。

「四季の祭りそろうた」



ケヤキ並木にジャズの響き

仙台のシンボルロード・定禅寺通を舞台にした初の秋祭「写真」。定禅寺通ジャズフェスティバルは、今年で15回目を迎える。仙台市内のケヤキ並木、定禅寺通の六カ所、所々41のビルディング、約400人のミュージシャンが参加して繰り広げられた。フェスティバルは午後一時から始まり、定禅寺通の六カ所、所々41のビルディング、約400人のミュージシャンが参加して繰り広げられた。フェスティバルは午後一時から始まり、定禅寺通の六カ所、所々41のビルディング、約400人のミュージシャンが参加して繰り広げられた。

平成3年 1991.9
第1回 定禅寺ストリートジャズフェスティバル in仙台開催



第2回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール
聴かせて君だけの音
東北の空気で感性を磨く

平成7年 1995.8~9
第2回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール開催



優勝者に日仏で発表の場

びつ部門 副賞など概要決まる

投票で「聴衆賞」も
各部門の優勝者に贈られる金メダル、クリスタルガラスにピアノの鍵盤とバイオリンをイメージしたデザインが刻まれている。

平成13年 2001.5~6
第1回 仙台国際音楽コンクール開催



プロの演奏に感動
仙台的クラシックフェスティバル
ゆかりの音楽家も出演
「仙台クラシックフェスティバル」は、仙台市文化センターで今年で25周年となるモーツァルトの名曲を演奏する仙台フィル・仙台市青年文化センター。

平成18年 2006.10
第1回 仙台クラシックフェスティバル開催

スポーツの充実

仙台市には、ベガルタ仙台(サッカー)、東北楽天ゴールデンイーグルス(野球)、仙台89ERS(バスケットボール)を始めとするプロスポーツチームが本拠を置いています。また市民も参加する仙台国際ハーフマラソン大会や、全日本大学女子駅伝対校選手権大会、全日本実業団対抗女子駅伝競走大会が開催されるなど、スポーツイベントも充実しています。



平成17年 2005.11
仙台 89ERS、bj リーグ開幕

平成13年 2001.11
ベガルタ仙台
J1 昇格決定

仙台 J1 昇格



設立7年悲願達成
京都下しJ2で2位

仙台89ERSは、設立7年目を迎える。京都下しJ2で2位を記録し、悲願のJ1昇格を達成した。

平成23年 2011.11
全日本実業団対抗女子駅伝大会、
松島～仙台コースとなる

全日本実業団対抗女子駅伝 18日号砲

たすきと希望

日本ケミコン 被災地の力に



宮城でつなぐ

平成24年 2012.5
仙台国際
ハーフマラソン大会に、
初めて一般市民
ランナーも参加



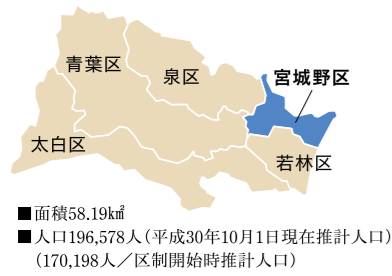
平成25年 2013.11
東北楽天ゴールデンイーグルス日本シリーズ優勝

復興の象徴に



被災者誰もが喜べる「東北の子どもも」
東北楽天ゴールデンイーグルス日本シリーズ優勝
東北楽天ゴールデンイーグルスは、日本シリーズ優勝を果たし、被災者にも喜びをもたらした。

宮城野区



■面積58.19km²
 ■人口196,578人(平成30年10月1日現在推計人口)
 (170,198人/区制開始時推計人口)

●宮城野区の概要

宮城野区は、仙台市の北東部に位置し、新しい都心として整備が進む仙台駅東地区から国際拠点港湾である仙台塩釜港にかけて広がる区域です。本市の都市機能の一部を担う「都心および周辺地域」、比較的早い時期に開発され成熟した住宅地が広がる「丘陵住宅地域」、県民の森などの自然環境や豊かな田園、新しい住宅地も形成されつつある「北部住宅・田園地域」、仙台塩釜港を中心に物流と産業の拠点になる一方、豊かな田園と住宅地も併せ持つ「東部住宅・産業・田園地域」から構成されています。

●宮城野区のおゆみ

- 平成元年 1989 仙台市の政令指定都市移行により宮城野区誕生
- 平成12年 2000 JR仙石線地下新線開業
- 平成16年 2004 JR仙石線小鶴新田駅開業
- 平成19年 2007 仙台市新田東総合運動場(元気フィールド仙台)オープン
- 平成23年 2011 仙台アンパンマン子どもミュージアム&モールオープン
- 平成24年 2012 宮城野区文化センター開館
- 平成25年 2013 仙台駅東第二土地区画整理事業完了
- 平成27年 2015 仙台うみの杜水族館オープン
- 平成28年 2016 海岸公園岡田地区一部利用再開
- 平成29年 2017 海岸公園岡田地区全面利用再開



■仙台駅東第二土地区画整理事業



整理前の状況(昭和62年)



整理後の状況(平成26年)

仙台駅東地区

平成元年1989年撮影
 (「伸びゆく宮城」河北新報社より)

当時の写真には、仙台駅から東側に延びるJR仙石線の線路が写っています。当時、踏切による交通渋滞が発生していたため、仙石線側を地下化する計画が開始され、「陸前原ノ町駅」までの地下化が平成12年に完成しました。また仙台駅東地区の土地区画整理事業によって、都市施設の整備と市街地環境の更新が進められてきました。

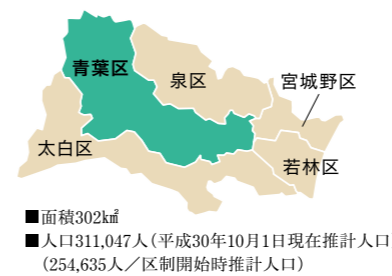


平成19年 2007.5
 新田東総合運動場(元気フィールド仙台)オープン



平成23年 2011.7
 仙台アンパンマン子どもミュージアム&モール オープン

青葉区



■面積302km²
 ■人口311,047人(平成30年10月1日現在推計人口)
 (254,635人/区制開始時推計人口)

●青葉区の概要

昭和20年の仙台空襲によって市街地のほとんどが焼失してしまいましたが、その後の戦災復興事業や都市計画事業により都市整備が急速に進み、多くの行政機関、金融機関、企業、商店が集中するようになりました。区域は都心から宮城地区がある山形県境まで北西方向に帯状に広がり、広瀬川の清流が区内を流れ、詩情豊かな仙台のイメージと市民憩いの水辺空間を創出しています。市の5区の中で、人口、面積とも最も大きく、近代的な都市機能と豊かな自然環境が共存する「多様性」が区の特徴ともなっています。

●青葉区のおゆみ

- 昭和62年 1987 宮城町を仙台市に編入
- 平成元年 1989 仙台市の政令指定都市移行により青葉区誕生
- 平成2年 1990 青年文化センター、新科学館開館
- 平成3年 1991 仙台国際センター開館
- 平成11年 1999 仙台文学館開館
- 平成13年 2001 せんだいメディアテーク開館 第1回仙台国際音楽コンクール開催
- 平成15年 2003 仙台城跡国史跡指定
- 平成27年 2015 第3回国連防災世界会議開催



川内地区

平成元年 1989年撮影
 (「伸びゆく宮城」河北新報社より)

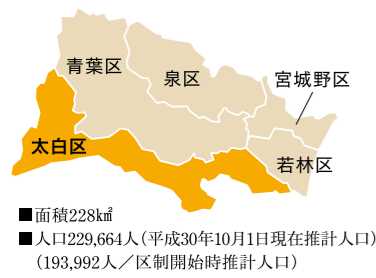
写真左側下部の5角形の建物は、当時存在した宮城県スポーツセンター(現在の地下鉄東西線「国際センター駅」あたり)。その南側に1991年仙台国際センターが建設され、さらに2014年に建設された展示棟は、国連防災世界会議の会場となりました。

新たな指針 議論の地



平成27年 2015.3
 第3回国連防災世界会議開催(仙台国際センター)

太白区



● 太白区の概要

仙台市の南西部に位置し、名取川に沿って東西に帯状に広がった形状をしています。面積は228km²、人口約22万人で面積、人口とも青葉区に次ぐ規模です。区内には市内の4割を超える埋蔵文化財が集中しており、富沢遺跡や郡山遺跡等の大規模な埋蔵文化財の存在も区の大きな特徴となっています。JR長町駅周辺を中心とした市南部の中心地である「南部拠点地域」、その南側で、JR南仙台駅周辺を中心に宅地化が進む野部とその背後に優良農地が広がる「名取川右岸地域」、八木山をはじめとした丘陵部に住宅団地が連なる「丘陵住宅地域」、豊かな居住環境と山あいの緑と田園の残る「太白山周辺地域」、そして二口峡谷をはじめ豊かな自然と温泉に恵まれた「秋保地域」からなっています。

■面積228km²
■人口229,664人(平成30年10月1日現在推計人口)
(193,992人/区制開始時推計人口)



平成元年 1989年撮影(「伸びゆく宮城」河北新報社より)

■ 仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業



整理前の状況(平成6年1月)



整理後の状況(平成28年1月)

● 太白区のおゆみ

- 昭和63年 1988 名取郡秋保町を仙台市に編入
- 平成元年 1989 仙台市の政令指定都市移行により太白区誕生
- 平成8年 1996 地底の森ミュージアム開館
- 平成11年 1999 太白区文化センター開館
- 平成18年 2006 仙台郡山官衙遺跡群が国史跡に指定
- 平成21年 2009 秋保の田植踊がユネスコ無形文化遺産に登録
- 平成25年 2013 あすと長町土地区画整理事業完了
- 平成26年 2014 仙台市立病院があすと長町に移転・開院

長町駅周辺

当時の写真には、旧国鉄貨物ヤードの広大な跡地のほか、かつて立地していた工場等が写っています。貨物ヤードの廃止により数十ヘクタールの大規模空地が発生したことを契機に、平成9年から市民協働により進められた「あすと長町土地区画整理事業」は平成25年に完了、仙台都市圏南部の新たな広域拠点として大きく生まれ変わりました。

富沢駅周辺

富沢駅周辺地区は、駅周辺に良好な市街地形成を図るため平成7年より土地区画整理事業に着手し、長い歳月をかけ平成28年に基盤整備を終了しました。



昭和62年1987年撮影



平成8年 1996.11
地底の森ミュージアム開館

若林区



● 若林区の概要

若林区は、市内の東南部に位置し、北は宮城野区、東は太平洋に面し、西は青葉区、南は太白区と一部名取市とも接しています。区域は、都心の一部と市街地からなる「都心及び周辺地域」、その東側からさらに仙台バイパスを挟んで「郊外住宅地域」が広がっています。特に荒井地区では地下鉄東西線の開通とともに新たなまちづくりが進められています。北部には、流通・工業地帯を形成している「産業・交流地域」、広大な「田園・海浜地域」が東部に広がっています。

■面積50.86km²
■人口137,494人(平成30年10月1日現在推計人口)
(130,212人/区制開始時推計人口)

■ 仙台市荒井東土地区画整理事業



1987年の荒井(北側より)

(資料提供:一般社団法人荒井タウンマネジメント)



2014年の荒井(北側より)

(資料提供:一般社団法人荒井タウンマネジメント)

● 若林区のおゆみ

- 平成元年 1989 仙台市の政令指定都市移行により若林区誕生
- 農業園芸センター開園
- 平成5年 1993 若林区文化センター開館
- 平成14年 2002 せんだい演劇工房10-BOX開館
- 平成23年 2011 能-BOX開館
- 平成27年 2015 地下鉄東西線開業
- 平成28年 2016 せんだい3.11メモリアル交流館開館
- 海岸公園荒浜・井土・藤塚地区一部利用再開
- 平成29年 2017 震災遺構 仙台市立荒浜小学校公開史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設開館
- 平成30年 2018 海岸公園冒険広場・馬術場利用再開(全面利用再開)

荒井地区周辺

仙台駅から東方に6km圏内に位置していますが、かつては農地の多い土地でした。政令指定都市移行の少し前から土地区画整理事業が継続されていますが、平成27年に開業した地下鉄東西線の東のターミナル駅である「荒井駅」を核として、地元・民間・市の協働による計画的なまちづくりが進められています。



平成29年 2017.7
陸奥国分寺・尼寺跡
ガイダンス施設
開館



荒井駅・駅前広場
(資料提供:一般社団法人荒井タウンマネジメント)

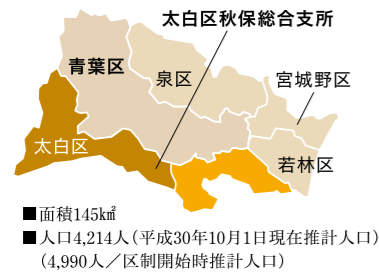


農業園芸センター大温室(2010年11月撮影)
※東日本大震災後(2014年11月)に解体

太白区 秋保総合支所

● 太白区秋保総合支所の所管区域

秋保町湯向、秋保町境野、秋保町長袋、秋保町馬場、秋保町湯元



● 太白区秋保総合支所のあゆみ

昭和63年 1988 秋保町を仙台市に編入。旧町役場は、仙台市秋保総合支所となる
 平成元年 1989 仙台市の政令指定都市移行により、太白区誕生
 旧秋保町地域(白沢地区を除く)は太白区の一部となり、太白区秋保総合支所が管轄
 平成2年 1990 現在地に秋保総合支所庁舎・分庁舎完成
 平成3年 1991 秋保ビジターセンターオープン
 平成13年 2001 秋保・里センターオープン
 平成28年 2016 先進7カ国(G7)財務大臣・中央銀行総裁会議、秋保温泉で開催



秋保地区 平成元年 1989年撮影
 (「伸びゆく宮城」河北新報社より)

秋保地区は東北有数の温泉である秋保温泉を有するほか、県立自然公園二口峡谷に位置する国指定名勝の磐司や秋保大滝、轟々峡など、名取川上流部の貴重な自然環境を有し、市民や観光客の憩いの場所となっています。近年は、「秋保米」や「野尻そば」など地元の農産物や地域資源を活かした体験観光、地域ブランド向上に向けた活動が展開され、仙台西部の憩いの場所として、ますますその魅力を高めています。

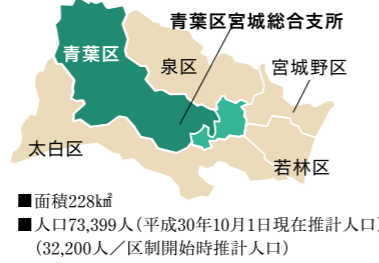


平成28年 2016.5
先進7カ国(G7)
財務大臣・
中央銀行総裁会議、
秋保温泉で開催

青葉区 宮城総合支所

● 青葉区宮城総合支所の所管区域

赤坂、愛子中央、愛子東、芋沢、大倉、落合、上愛子、国見ヶ丘、熊ヶ根、栗生、郷六、作並、下愛子、高野原、中山台、中山台西、中山吉成、錦ヶ丘、ニッカ、新川、南吉成、みやぎ台、向田、吉成、吉成台、臨済院



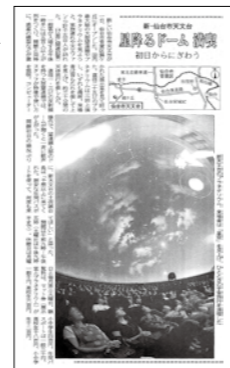
● 青葉区宮城総合支所のあゆみ

昭和62年 1987 宮城町を仙台市に編入
 平成元年 1989 仙台市の政令指定都市移行により、青葉区誕生
 旧宮城町地域(旧秋保町白沢地区を含む)は青葉区の一部となり、青葉区宮城総合支所が管轄
 平成3年 1991 広瀬文化センター開館
 平成5年 1993 愛子バイパス全線開通
 平成17年 2005 陸前落合駅新駅舎完成、橋上化
 平成18年 2006 大倉ふるさとセンター開館
 平成20年 2008 仙台市天文台が移転開館



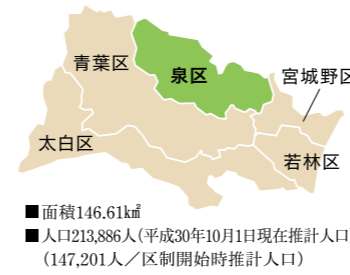
愛子地区 平成元年 1989年撮影
 (「伸びゆく宮城」河北新報社より)

愛子地区は、東北自動車道「仙台宮城IC」から近く、国道48号やJR仙山線による仙台市中心部と山形方面を結ぶ中継地であり、仙台市西部の観光エリアへのアクセスが良いなど、広域的な交通利便性に恵まれた立地です。このため、JR愛子駅周辺や錦ヶ丘ニュータウンにおける住宅地の開発が進み、大きく発展してきました。



泉区

● 泉区の概要



泉区は、仙台市北部に位置し東西に長く広がる自然環境に恵まれた区域です。昭和30年代後半からの住宅開発により大小多くの住宅団地が形成されました。平成元年の区制移行後、地下鉄南北線の延伸に伴い、泉中央地区では大規模な都市基盤整備が行われ、泉文化創造センター(仙台銀行ホールイズミティ21)や仙台スタジアム(ユアテックスタジアム仙台)などの文化スポーツ施設や、駅前広場・ショッピングセンターなどの商業施設が集積する、本市北部の拠点として発展してまいりました。また、北部地域には産業支援機能を有する研究所などが立地しています。さらに西部地域は、泉ヶ岳や七北田川に代表される豊かな自然環境や、寺社・史跡などの歴史的文化的資源を有しており、市民が四季を通じて自然に触れリフレッシュできる空間が広がっています。



● 泉区のあゆみ

昭和63年 1988 泉市を仙台市に編入
 平成元年 1989 仙台市の政令指定都市移行により泉区誕生
 グリーンフェアせんだい開催
 平成2年 1990 こども宇宙館開館(平成19年閉館)
 平成4年 1992 仙台市地下鉄南北線が泉中央駅まで延伸
 健康増進センター開館
 平成9年 1997 仙台スタジアムオープン
 平成12年 2000 仙台市屋内グラウンド(シェルコム仙台)オープン
 平成26年 2014 仙台市泉岳自然ふれあい館開館

泉中央地区

昭和62年 1987年撮影

当時の泉中央地区は、主要な建物は旧泉市庁舎と、その西側の泉文化創造センター(仙台銀行ホールイズミティ21)だけでその周辺は農地と造成地が広がっていました。その後、周辺の集落などを含めた土地区画整理事業などが進められ、また平成4年の地下鉄南北線泉中央駅延伸により駅周辺への大型商業施設の集積などが進み、仙台市北部の広域拠点として発展してきました。

平成9年 1997.6
仙台スタジアムオープン
(ユアテックスタジアム仙台)

青少年育成 新たな拠点
仙台 泉岳自然ふれあい館開館
震災、火災で完了遅れる

平成26年 2014.7
泉岳自然
ふれあい館開館
(オーエンス泉岳
自然ふれあい館)

興奮!感動!緑の「劇場」
仙台スタジアムあすオープン
国内トップ級の施設